

第114回壮瞥町新型コロナウイルス感染症対策本部会議 顛末要旨

と き 令和4年5月16日(月) 9:00-9:15

ところ 壮瞥町役場大会議室

- 出席者 町長(本部長)、教育長(副本部長)
総務課長、企画財政課長・参事、税務会計課長、住民福祉課長、産業振興課長、
商工観光課長、建設課長、農業委員会事務局長、議会監査事務局長、
生涯学習課長(以上、本部員)

■議事要旨

(1) 住民対策班

○感染状況

- ・連休中は検査数自体が少なかったこともあり、連休明けは全国的に拡大傾向にある。
- ・本町の5/8-5/14の新規感染者数は4名だった。

○ワクチン接種

- ・3回目のワクチン接種については、5/18で集団接種は終了し、その後は個別接種に移行する。
- ・5/13現在の追加接種実施率(18歳以上)は全体で89%である。
(60歳以上は94%だが、10代は48%、20-30代は71%にとどまっている)
- ・4回目の接種については未定だが、早ければ7月頃からと考える。

(2) 今後の対応について

- 本部長
- ・5/21に高校朝市開催と聞いたが、感染対策には十分留意すること
近隣市町ではクラスターも発生しており、まだまだ注意が必要である。
 - ・商工観光課のまとめによると、町内観光業は依然として厳しい状況にあり、
経済対策が必要である。
ア R3観光客入込数はR元対比で6割減、昭和新山は8割以上減という状況
イ 宿泊者数はR元は29万人、R2は16万人、R3は17万人
 - ・第5次地方創生交付金の活用事業について、7月までにまとめた。今回は経済対策や住民生活支援(物価高騰対策含む)が中心になる見込みだが、各課で検討されたい。
 - ・住民対策班の報告のような状況を踏まえ、今後も各自、感染対策と体調管理に留意すること。